

関西女子学生バスケットボール連盟
2023 年度 第 4 回 理事会 会議録

日 時 : 2023 年 7 月 3 日 (月) 19 時～

場 所 : ZOOM による遠隔会議

出席者

野老稔、丸岡信吾、荒木初広、西川幸穂、坂井和明、古本ルミ、畑岸邦枝、今西正泰、
村田尚美、市谷浩一郎、佐藤亜紀子、玉井里英、永田康一、長渡由子、村上なおみ、
柳生志乃、岸本里紗、瀧本真己、房本浩希、小畑治、小林未季代、白井徹、東亜弓

[学生委員] 島美悠、山路佳奈、高田奈々、田浪歩乃佳、足立奈月、鶴田彩海、平本愛純、
松本知夏、高村海楓、中間莉子、大久保結子、秋岡茉菜、上野なつな、深井愛子、藤浪真子、
志原ひな、神谷悠鳳、小林愛梨、高野美佐子、高田鈴、近藤ほなみ

書記：鶴田彩海

古本副理事長・総務部長から、第 4 回理事会の開会にあたり、出席者 23 名、委任状出席者 10 名で、出席理事が構成員の過半数に達しており、理事会が成立していることが報告された。

期初の申し合わせに従い、野老会長を議長として、第 4 回理事会を開会した。

I. 審議事項

1. 2023 年度リーグ戦について・・・資料 1

(1) リーグの編成と対戦方式について

坂井副理事長より、資料 1 を基づき、2023 年度リーグ戦大会について説明があった。

各部の大会日程 (9/2 (土) ～11/5 (日)) と参加料が決定された。11/5 の後、1 部と 2 部の入れ替え戦が行われる。

大会参加申込締切日が、7/9 (日) となるため、リーグ編成表により、数校が部員不足等のため大会に参加できない可能性がある。

エントリー方法について周知徹底する。スタッフ含め選手の大会エントリーをしたうえで、ゲームエントリーを行う必要があり、ベンチメンバーについて、当日ゲームエントリーされたものしか入ることは出来ない。また、エントリーの際には、学連証・スタッフ証の持参が必要であることについて、各チームへの徹底を行う。

《リーグ戦》競技注意事項について

・入館時間については、90 分前。コートインは第一試合目のみ 60 分前。

・今年度より、インカレと同様にハーフタイムの次試合チームのウォームアップについては行えないこととする。

・遅刻する場合、当連盟にメールにて連絡を入れること。

・危険物は身につけない。

また全関西で何度か危険として報告されたジェルネイルについては、長さが無いもの、装飾品が付いていないものは、危険性がないと判断できれば出場可能とする。

・コンディショニングスタッフは、学生から2名まで申請可能となり、ベンチメンバー18名に加えて出すものとするを追加で記載する。

・外国籍選手登録について、JBAに登録していることを前提に、オンザコート1名であれば出場可能とする。

記載の仕方として外国籍選手の表記について正確を期するため、確認したうえで、必要な訂正を行う。

続いて、順位決定について、坂井競技・強化本部長より説明があった。

1部について、10チームで行うが、昨年度と異なり、10チームで1巡目総当たりを行い、上位リーグ5チーム・下位リーグ5チームで2巡目を行うことに変更する。インカレ出場枠の見直しなどを踏まえて検討した。今年度が終わった時点で、過去2年の振り返りやゲーム内容をまとめ、今年度中に議論を行い、2025年度以降の1部のチーム数を含む部編制について改めて検討する。2025年度以降変更が必要と判断する場合には、2023年度中に提案・審議を行うこととする（2024年度は部編制の変更は行わない）。

2部については、2部12チーム、一回の総当たりで行う。

3部については、1次リーグにて、A,Bで分かれ、総当たりを行い2次リーグにてA上位3校B上位3校/A下位3校B下位3校で分かれ、再戦なしの2次リーグを行う。

4部については、1次リーグを行った後に、各順位同士での対戦を行うこととするが、出場チーム数により、3部と同様とすることも検討する。

入れ替え戦について、リーグ戦順位の1部9位と2部2位、1部10位と2部1位、2部11位と3部2位、2部12位と3部1位、3部11位と4部2位、3部12位と4部1位はリーグ戦期間中に入れ替え戦を行う。1部下位チームと2部の上位チームのみ、2戦勝利したチームを上位とする、1勝1敗の場合は、3戦目を行う。それ以外に入れ替え戦については、1戦のみの実施とする。入れ替え戦にて、チームが入れ替わった場合、元の部にいた方が上位となる。両方入れ替わった場合は、下位グループの1位が上位となり2位がその下の順位となる。両チームが入れ替わった場合の記載がない為、追記する。

2024年度の1部リーグの対戦・実施方法については、インカレの出場枠が確定したのちに検討する。

審判部より、4部の試合について、1部との試合の兼ね合いも考慮し、帯同審判での運営

を増やしたいと申し出があった。4部の試合を従来通りのライセンスを持っている審判に試合を担当することは、実際に難しい。ライセンスランクを下げて割り当てすることも出来るが、関西女子での経験のない他地区を含めた審判となる可能性があり、であれば今後の審判運営を考慮して学生の帯同審判の提案がされた。本件は、坂井副理事長と審判部とで詳細を検討していただくことを確認した。

また、出場しないチームが生じる可能性のある3部・4部のチームについてどう対応するのか質問があり、AブロックのチームがBブロックに移行するなどブロック編成の見直しの可能性があるとの説明があった。参加申し込みが決定次第、昨年度の編成表を基に、作成していくが、詳細は競技部に一任することとした。来年度については、登録締切日程を理事会開催前に設定し出場チームが決定した状態で理事会開催日を迎えられるようにすることができないか、検討課題とすることとした。

加えて、理事会資料のタイムスケジュールについては、仮の時間設定である為、会場の状況によって適切な時間に調整することが報告された。また、現段階で記入されている会場については確定していることが補足の説明があった。

(2)各部の準備状況について・・・資料2

島学生委員長より、資料2に基づき、リーグ戦が9/2より始まるため、8/26に代表者会議を行う、各部の大学体育館の使用については、引き続き調整を行うと説明があった。

引き続き、パンフレット作成、校正日程については資料2を確認していただき、いずれも承認された。

(3)有料日の設定について

今西財務部長より、リーグ戦最終日を有料日にする提案があり、特に意見はなく承認された。

(4)代表者会議について

島学生委員長より、リーグ戦開催日の9/2（土）の1週間前8/26（土）に代表者会議及び「熱中症対策講習会」を行うと報告があった。

特に意見はなく、承認された。

II. 報告事項

1.全関西女子学生バスケットボール選手権大会のまとめ（常任理事会報告）・・・資料3

島学生委員長より、各部の全関西女子学生バスケットボール選手権大会反省について報告があった。

〈総務部〉

コロナ明け、初のハーフタイムショーとなったが、学生の中で連携をとりスムーズに進行することが出来た。

〈広報渉外部〉

全関西の試合のスタッツをつける中で、チームと学連員でのスタッツ規定の統一がされていなかったため、新人戦予選会の際に「スタッツ講習会」を実施した。

〈競技部〉

年度初めの試合の為、主務への引き継ぎが出来ておらず、未加盟にもかかわらずベンチに入ってしまったチームが見受けられた。

コンディショニングスタッフを設けたことで、出場選手が試合に集中すること、エントリ外外の選手がベンチに入る機会を作ることが出来た。

今西財務部長より、全関西について赤字であると報告があった。原因としては、パンフレットの再印刷、交通費がかさんだことによる支出超過が要因であり、大学に積極的に広告契約に関わってもらい、4月に提示した予算案を基に、各部署が予算内で工夫する等、リーグ戦に向けて対策を行っていききたいとの説明があった。

また観客数の減少傾向について実態を調べること、それを受けて各部にアイデアを出して観客数を増やす取り組みを行うことが必要ではないかという意見が出され、総務部で登録状況を回生別に把握する、他競技や大学全体の傾向を把握するなどしたうえで、それを理事会で情報共有し、継続的に関西女子を盛り上げていく方策を検討することとした。

2.2023 年度西日本学生バスケットボール選手権大会の開催結果

荒木理事長より、西日本において有料日での観客数の減少傾向がみられたが、コロナ明けに再開し2年目の大会となった今年度も、無事に終了したと報告があった。

今後の課題としては、昨年度より減少した参加チームの復帰または、増加させていかなければならない、参加チームを確定する前に、体育館を抑えるため、参加料の値段設定に関しての圧縮は難しいと説明があった。7/5(水)に西日本大会反省会を行うため、来年度以降の課題、解決すべく問題をについて考えていきたい。

大会期間の日程を5月中に終了することが来年度以降、可能かどうか検討していきたい。

今西財務部長より、チケットの売り上げについて、6/10(土)一般279枚、高校生10枚、合計289枚の423,500円、6/11(日)一般334枚、高校生25枚、合計359枚、合計513,500円、有料日の合計金額937,000円と報告があった。

3.新人戦関西予選会の開催結果と第1回全日本大学新人戦について・・・・・・資料4

坂井競技・強化本部長より、資料4に基づき、全関西のベスト8から組み合わせを決め、5/28・6/17、18に予選会を行った。結果としては、優勝大阪体育大学、準優勝大阪人間科

学大学、第3位武庫川女子大学、第4位立命館大学の4チームが第1回全日本大学新人戦の出場権を得たと報告があった。

新人戦の組み合わせについては、シード校が右上に大阪体育大学が入っている。インカレと同様に予選プールを行い、その後シード校が出場すると説明があった。

今西財務部長より、新人戦予選会の決算について説明があった。収入について、参加費を各大学より10,000円、大会助成金200,000円、勝ち上がり金20,000円、合わせて収入が300,000円に対し、支出については、会場費（各大学）、審判費、事務の消耗品によるものであると資料を用いて報告があった。部署費等の各項目についての仕分けについては、会計処理が終わり次第報告すると説明があった。

4. コロナ含む感染症対策及び対応について・・・資料5

荒木理事長より、資料5に基づき、5/24に発出している「基本的な感染対策について」、日学が今回の新人戦に向けて「本連盟主催大会における感染症に対する取り決め事項」において関西女子学連と日学でコロナ感染者が生じた場合の対応に関して相違があると報告があった。関西女子としての対応を変更する場合、後日報告する。

5. 個人情報の取扱い及び写真・動画等画像の使用について

荒木理事長より、個人情報の取扱いについて総務部、広報渉外部での連携、検討を要請された。

6. 法人化に向けた取り組み状況報告

西川副理事長より、一般社団法人化の定款案を作成し、日学の方、専門家の方と相談し法人化を進めていきたいと報告があった。新人戦を利用して、会長・理事長に日学との挨拶を行ってもらい、案についての打ち合わせを行う。法人化に関する委員会を設けているので、そこで検討していくと説明があった。法人化する時期については、今年度中を目標としている。

7. 日学評議員会報告

荒木理事長より、6/24に行われた日学評議員会では、年次報告となる事業報告、今年度の事業計画について日学より報告があった。また今年度のインカレの出場枠については、検討中であり、新人戦に出向いた際、いつ頃決定するのかを確認する。

Ⅲ. その他

1.1 部監督懇談会の実施について

坂井副理事長、競技・強化本部長より、関西の強化のために何を行うべきか中大路副会長より助言を受ける場を設け、懇談会を開催したいと報告があった。

2.インテグリティ勉強会及び懇親会の開催について

荒木理事長より、1 部監督懇談会と同日開催を予定し、7/30 を候補としていたが、会場確保に難航したため、8 月に改めて案内を行うと報告があった。

日本スポーツ協会から発行されている冊子を用いて、インテグリティについての認識を深めるとともに、中大路副会長から話題提供を受けて情報交換を行うと説明があった。

3.学生委員からの報告事項

島学生委員長より、新学連員が紹介され、総務部に武庫川女子大学小林愛梨、競技部に武庫川女子大学高野美佐子、広報渉外部に大阪産業大学高田鈴、および同志社女子大学近藤ほなみ、審判部に奈良学園大学野々村香那、の以上 5 名が新たに加わったと紹介があった。

4.各部から

①総務部

特になし

②広報渉外部

特になし

③競技部

特になし

④審判部

特になし

⑤強化部

特になし

⑥財務部

特になし

4.次回理事会の日程について

古本副理事長より、11 月中旬頃を予定していると報告があった。

最後に野老会長より、本日の理事会にてリーグ戦に関わって検討課題に上がったものについては、坂井副理事長が担当となり対応の上、最終確認を荒木理事長が行うことを確認された。

野老会長より、閉会を宣し、丸岡副会長より閉会の挨拶があり、理事会を終了した。

(以上)